日本NPOセンター

児童館とNPOの協働事業への助成

応募期間　2019年1月15日～31日

助成期間　2019年4月～2020年2月

住友生命福祉文化財団Presents

どんどこ

どんどこと　育て大きく
子どもたち

NPOプロジェクト

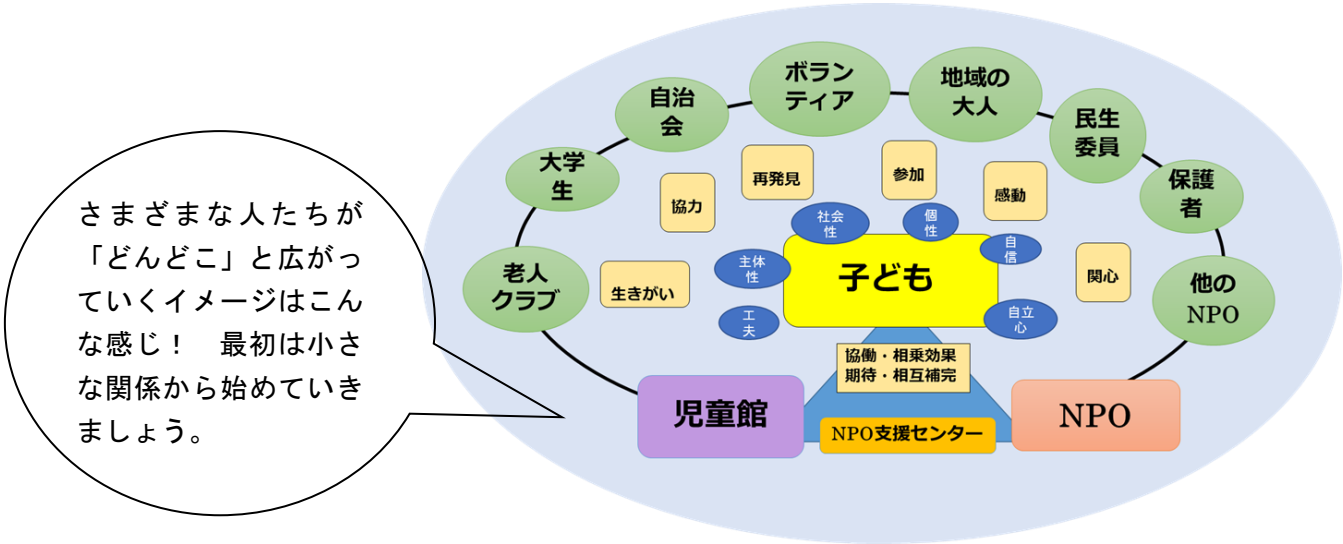
子どものための児童館とＮＰＯの協働事業

２０１９年度助成事業　応募要項

主催：特定非営利活動法人日本NPOセンター　協力：一般財団法人児童健全育成推進財団　協賛：一般財団法人住友生命福祉文化財団

こどものための児童館とNPOの協働事業（NPOどんどこプロジェクト）とは・・・？

「子どものための児童館とＮＰＯの協働事業」は、次世代が健全に育つ環境を作るために「地域ぐるみで共に支え育ちあう」仕組みを多様な主体の「連携」で作り出すために、子どもの拠点として活動してきた児童館と、地域の課題に主体的に取り組んできたＮＰＯの連携によって、子どもが地域の課題に触れる機会を提供し、子どもたちと地域が共に気付き、学びあう環境を作ることをめざし、一般財団法人住友生命福祉文化財団からのご支援をうけ、特定非営利活動法人日本ＮＰＯセンターと、一般財団法人児童健全育成推進財団により2007年から実施しているプロジェクトです。太鼓をみんなで打ち鳴らすように「どんどこどんどこ」広がるように、「ＮＰＯどんどこプロジェクト」という通称をつけました。



助成対象となる事業は・・・？

「どんどこプロジェクト」の趣旨である、児童館とＮＰＯが協働しており多様な方々の参画に支えられていること、プログラムにおいて「子どもが真ん中」に据えられ、子どもたちの主体性が発揮される事業であれば、特に「これ」という事業の規定はありません。選考委員会では、以下の視点を重視し、審査をいたします。

■協働性：児童館とＮＰＯの両方の強みを生かして、互いに成長できるか。

■地域性：地域の様々な関係者を巻き込むことができるか。

■社会性：地域課題との接点が意識されているか。

■実現性：実現可能性があるか。予算配分やスケジュールは妥当か。

■主体性：子どもが主役になれるか。

※年間を通じて複数回行う事業においては、一貫したテーマであることを条件とします。

ＮＰＯとの協働経験は問いません。また、地域のＮＰＯとのつながりがなくても応募いただけます。新規事業を企画しても、既存事業をバージョンアップする形でも結構です。児童館「だけ」、ＮＰＯ「だけ」でプログラムを実施するのではなく、多様な団体と協働してみたい！という思いのあるご応募をお待ちしています。

【選考について】プロジェクト関係者・外部有識者から構成される審査会において選考を行います。

選考結果は電子メールおよび書面にて通知いたします（選考結果の通知予定：2019年3月20日前後）

助成概要は・・・？

【助成金額】上限20万円

【助成期間】2019年4月～2020年2月末日

【助成対象になる経費】協働事業にかかわる経費（備品費、消耗品費、謝金、交通費、広報費など）を対象とします。

【協働の対象となるＮＰＯ】市民活動団体であれば法人格の有無を問いません。ただし、ＮＰＯが運営している児童館については、自団体（運営団体）は協働相手にできませんのでご注意ください。

【サポート】プログラム運営の相談対応のために、採択案件ごとに必要に応じて日本ＮＰＯセンターが事業サポーターを配置します。申請時点で協働ＮＰＯが見つからないけれども取り組んでみたいことがある場合も、ぜひトライしてみてください。

応募方法は・・・？

【応募受付期間】2019年1月15日（火）～2019年1月31日（木）　※13:00必着

【応募方法】 所定の申込み書をダウンロードのうえ、Email/郵送/FAXのいずれかにてお送りください。

ダウンロード先：https://www.jnpoc.ne.jp/?p=16958

【応募にあたっての注意事項】

・パソコンによる入力、作成をお願いします。印字は黒色でお願いします。

・写真・図を使用する場合はモノクロ印刷でわかるものをお使いください。

・メール送付の場合、容量が大きくなる場合は届かない場合がありますのでご注意ください。

・選考は応募用紙のみで行います。参考資料などの送付は不要です。

・応募用紙は返却いたしませんので、コピー（控え）を必ず保管してください。

・過去に採択経験のある児童館の応募については申請用紙が異なります。別途ご請求ください。

■応募用紙の送付先■

一般財団法人児童健全育成推進財団（事業部どんどこプロジェクト担当）

〒150-0002　東京都渋谷区渋谷2-12-15-7F FAX: 03-3486-5142 メール：dondoko@jidoukan.or.jp

【問合せ先】

特定非営利活動法人日本ＮＰＯセンター　（担当：上田・千代木／dondoko-pj@jnpoc.ne.jp）

〒100-0004東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245 TEL: 03-3510-0855

一般財団法人児童健全育成推進財団　（事業部どんどこプロジェクト担当／dondoko@jidoukan.or.jp）

〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会ビル7F TEL: 03-3486-5141

【個人情報を含む受領した情報の取り扱い】

・応募用紙に記載の情報は、本プロジェクトの目的以外には利用しません。

・助成が決定した事業については本プロジェクトのウエブサイト等で実施児童館、プログラム内容、報告等を掲載します（掲載にあたっては、別途掲載用の情報提供をお願いしております）。

「どんどこプロジェクト」助成事業紹介　http://www.npo-dondoko.net/

児童館×災害支援ＮＰＯ

災害支援ＮＰＯが持つ「防災マップ」づくりのプログラムをもとに、児童館とＮＰＯで意見を出し合い、ロールプレイングゲームとしてアレンジしました。子どもたちは地図を見ながら各所に設けられた関門クリアしてゴール（学校＝避難所）をめざしました。実施にあたっては、保護者をはじめとした地域の方に幅広く協力を呼びかけた結果、自治会などの諸団体、近隣の児童館、地域のお店、まちづくり協議会、自治体の防災課、地域振興課、教育委員会と多くの協力を得ることができ、地域ぐるみの取り組みとなりました。地域全体で子どもを見守る意識も高めることができました。

児童館×アートＮＰＯ×まちづくり

アートＮＰＯの方と一緒にまちづくりイベントに子どもたちが参画し、こどもならではのアイデアや賑わいを提供していくような活動を行いました。こどもたちは商店街のガレージを借用して児童館のブースをもち、児童館での日常あそびを出店しました。いつもは黙々とブロック遊びをする子どもたちが「職人」になることで、他の子どもたちの憧れの存在になったり、高学年の子どもたちがまちの歴史を学び、地域の人々にインタビューをして作成した地域のPR番組はインターネットを通して放映されました。これらの取り組みがきっかけになり、まちづくり会議に子どもたちの意見を聞く機会につながりました。

よくあるご質問

Ｑ：やりたいことや協力いただきたいことはあっても、連携先をみつけて申請できるかどうか不安です。

→申請時点で連携ＮＰＯが調整中、見つかっていない場合はその旨記入してください。採択された企画については、事業サポーターを通してマッチングのサポートをいたします。

Ｑ：放課後児童クラブを併設している児童館です。放課後児童クラブの事業として実施できますか。

→特定の児童のみが対象となる事業ではなく、児童館を利用するすべての児童が参加可能な仕組みとしてください。

Ｑ：私たちの児童館は自治体直営の児童館のため、助成金単独の管理が難しいのですが、どうすればよいでしょうか。→自治体直営の児童館での採択事例などをご紹介しながら地域にあわせて相談いたします。

問合せ先

特定非営利活動法人日本ＮＰＯセンター　（担当：上田・千代木／dondoko-pj@jnpoc.ne.jp）

〒100-0004東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル245 TEL: 03-3510-0855

一般財団法人児童健全育成推進財団　（事業部どんどこプロジェクト担当／dondoko@jidoukan.or.jp）

〒150-0002東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会ビル7F TEL: 03-3486-5141